

平成27年 7月 7日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全  
 (コード番号：8732 東証第一部)  
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦  
 (TEL. 03-4540-3804)

### 平成27年6月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成27年6月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

#### 記

年 月	平成 26 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	513	435	416	345	320	303	346	313	507	581	512	523
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	141,934	116,780	99,614	80,006	66,673	53,476	52,025	61,788	121,116	146,935	172,500	180,985
顧客口座数 (単位：口座)	232,518	234,192	235,807	237,340	238,815	240,435	242,160	243,854	245,880	247,587	249,193	251,189
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	44,144	44,250	44,348	44,177	44,098	44,561	45,128	45,214	45,649	46,290	46,008	47,359

年 月	平成 27 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	593	440	534	470	456	544						
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	164,450	87,835	93,958	80,634	80,504	92,881						
顧客口座数 (単位：口座)	253,179	254,732	256,494	258,189	259,825	261,736						
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	48,114	47,653	47,961	48,896	48,707	50,101						

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
4. 平成21年7月から平成26年10月まで株式会社大阪取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を行っており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
5. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。

#### < 6月次の概況 >

6月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝124円台前半で取引が始まり、米経済指標の良好な結果や米雇用統計の予想を上回る結果を受けドル高円安が進展し、5日には約13年ぶりとなる125円台後半まで値を上げたものの、翌週8日から10日にかけて日米要人による直近のドル高円安を牽制する発言を受け、122円台半ばまで急激に値を下げました。その後は122円台半ばから124円台前半での狭いレンジ相場で推移しましたが、29日から月末にかけてギリシャ債務問題の支援協議決裂によるデフォルト懸念の高まりを背景としたリスク回避の円買いにより121円台後半まで値を下げ、122円台前半で月末を迎えました。米ドル／円の変動率は、上旬の相場変動と月末のギリシャ債務問題の影響もあり平成27年2月以来の比較的高い水準となりました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、上旬と月末の相場変動を受けて月を通じての変動率は比較的高い水準となり、米ドル／円を含めた全体としての変動率は前月を上回る水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、米ドル／円等の取引が変動により前月と比べ大きく増加した結果、前月比15%増加の928億通貨単位となりました。一方、営業収益は、相対的に取引高当たり収益性の低い米ドル／円の取引高割合が上昇したものの、カバー取引手法の継続的改善による収益性の底上げ効果もあり、全体の取引高当たり収益性が前月と比べ改善したことから、前月比19%増加の544百万円となりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は前月比1,911口座増加の261,736口座と堅調に推移した一方、外国為替取引預り証拠金は、月末の急激な相場変動に伴う証拠金の積み増しがあったこともあり、前月比1,393百万円増加の50,101百万円となりました。

以 上